

健やか親子表彰 —最優秀賞—

社会福祉法人麦の子会

共に生きる～社会福祉法人麦の子会の実践～

活動の目的

児童発達支援センターを中心に、50以上の事業所が1km圏内に点在しており、妊娠期・乳幼児期・学齢期・成人期・高齢者の暮らしの場まで、ライフステージを通じた切れ目のない支援をおこなっています。

また、こどもと家族が孤立しないように心理支援・家族支援を大切に、グループカウンセリング、個別カウンセリング、自助グループなど、養育者同士も繋がって、こどもを大切にする文化が創られてきました。

具体的な取組内容

妊娠期から高齢者の方まで切れ目のない支援をおこなっています。

ひとりのこどもを支えるために、発達支援だけでなく、養育者の心理支援や家族支援もとても大切にしています。グループカウンセリングや、自助グループ、ペアレントトレーニング、居場所支援事業、24時間対応の緊急携帯電話を通して、養育者の虐待予防や孤立防止のために役立っています。

成果としては、現在750名以上利用者さんが登録をしており、幼児期から継続して支援を受けてきたこども達やその保護者の方々が職員やパートとして就労するなど、「支援される側から支援する側」への循環が生まれています。

にんしんSOSほっかいどうサポートセンターでは、令和3年に開設以来56人（令和7年10月末時点）の赤ちゃんが誕生し、昨年度は予期せぬ妊娠に直面して困っている妊婦さんなどから延べ4000件/年を超える相談を受けました。特に、居所のリリアでは若年層や経済的困窮にある女性が退去後も安心して子育てができるように、地域の関係機関と連携し安心して子育てできる環境を整えています。その他にも、昨年6月にはNHKのETV特集でもむぎのこでの取組を取り上げていただきました。

今後も支援の質の向上に努め、現場での実践をもとに行政や関係機関と連携し、障害の有無にかかわらずすべてのこどもと家族が共に安心して暮らせるインクルーシブな地域づくりをこれからも推進していきたいと考えております。



健やか親子表彰 最優秀賞

受賞者の声 担当者:理事長 北川 聡子

取組を始めた経緯は何ですか？

若い日に会った自閉症の少年は、他害や自傷が激しかったが、その眼差しは純粹で賢く、私に対して「信頼できる人なのか」と投げかけているようでした。こども達の未来のために、幼少時から子どもの Well-being を高める発達支援が必要と思い、むぎのこを設立しました。

具体的にどのように取組の普及を工夫しましたか？

むぎのこのミッション『ひとりのこどもを育てるには、村中の大人の知恵と力と愛が必要』を具現化するためにお母さんやこどもの困り感に寄り添い、心理支援・家族支援を行い、保護者が繋がって協力し合うよう職員と共に子どものWell-beingの為に一つ一つ取り組みました。

取り組む中で苦労したこと、大変だったことは？

大学卒業と同時に仲間と共に教会を間借りしてむぎのこを始めました。若かった事もあり、お金もスキルもなく、お母さん達から心配された事もありました。そこでお母さん達と北欧へ視察に行き、進んだ福祉を学び、当時のオスロ市長さんに励まされ、お母さん達と共に作り上げてきました。

取り組む中で苦労したこと、大変だったことに対して、どのように乗り越えたか

お母さんの心理支援のために、職員やお母さん職員がアメリカの大学院で専門的に学び、個別カウンセリング・グループ
カウンセリング・トラウマワーク・ピアカウンセリングを取り入れました。そして、家族支援については、ショートステイ・地域
支援について学び、取り入れました。

今後の展望・課題は？

こどもや家族の思いに耳を傾け、共に生きる支援を大切にしています。障害のある子や、社会的養護の必要な子をはじめすべてのこども一人ひとりの違いが尊重され、誰もが孤立せず安心して暮らせる社会をめざし、ソーシャルインクルージョンの地域作りを関係者と共に進めていきます。

評価委員からのコメント

妊娠期・乳幼児期・学齢期・成人期・高齢期まで、切れ目のない支援を続けてこられたこと、そして利用される方お一人お一人のニーズに丁寧に寄り添ってこられた積み重ねにより、現在のような層の厚い大きなサポート団体へと発展されたのだと拝察いたします。支援される側がやがて支援する側へとつながっていく良い循環が生まれていることも含め、長年の継続だけではなく、関わってこられた皆様お一人お一人のお力が結集した結果であると感じております。

現代はますます生きづらさを抱える方が増える難しい社会となっており、今後も様々な支援を必要とされる方は一層増えてくるものと思います。そのような中で、貴会の活動は今後ますます重要性を増していくものと存じます。今後も、将来にわたり一層のご活躍と多彩な活動の広がりが期待されます。会のさらなるご発展を心よりお祈り申し上げます。

健やか親子21推進本部副会長／日本医科大学付属病院 女性診療科・産科 **川端 伊久乃**